

配布用

情報とどう付き合う？

ネット社会をよりよくするための

これからのコミュニケーション講座

5/17（日） 9:30～12:00 @オンライン



国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
主任研究員
青木志保子

プロフィール

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主任研究員／
理化学研究所未来戦略室客員研究員

経歴

横浜国立大学教育人間科学部地球環境過程学士（理学）

東京大学新領域創成科学研究科環境システム学修士（工学）

2008年 福生市役所入庁（環境課）

2012年 一般社団法人環境ビジネスウィメン 官民連携コーディネーター（環境省プロジェクト他）

2013年 NPO法人BeGood Café 官民連携コーディネーター（経済産業省プロジェクト他）

2015年ー 国際大学GLOCOM 主任研究員

2018年ー 理化学研究所 未来戦略室 客員研究員



Key interest: 「社会的課題」、「官民連携」、「多様性」、「対話」、「未来社会」

①ネット社会（情報化社会）とは

- ーどれくらいの人が利用しているのか
- ー歴史的観点
- ーポジティブな側面・ネガティブな側面

②ポジティブな側面

- ー情報の非対称性の緩和、一億総メディア時代、消費の押上効果

③ネガティブな側面

- ー炎上、フィルターバブル・エコーチェンバー、フェイクニュース

④まとめとメッセージ

ネット社会の現状？

玉石混交な情報



IDEAS FOR GOODマガジン「SDGsウォッシュとは」
<https://ideasforgood.jp/glossary/sdgs-washing/>より

フェイクニュース

“

コロナウイルスは熱に弱く、26~27度の
お湯を飲むと殺菌効果がある
—SNSで複数投稿

”

<https://fij.info/coronavirus-feature/national>より

炎上

<https://backyard.imjp.co.jp/articles/enjo-kousatsu>より



ネット疲れ、SNS離れ



星のや「脱デジタル滞在」

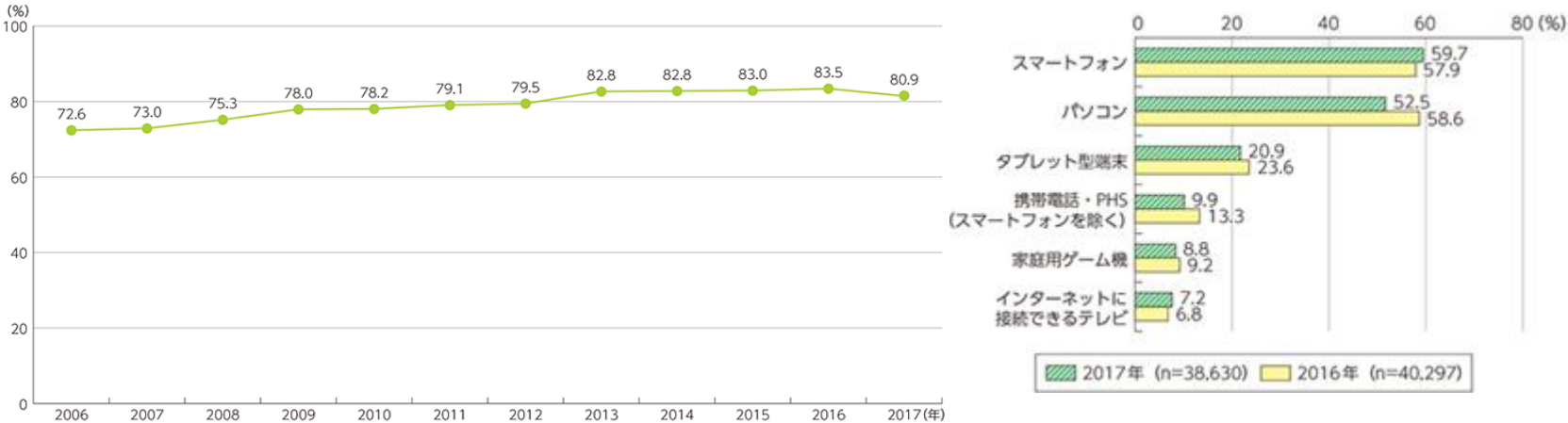
星野リゾート公式HPより

そもそもネット社会（情報化社会）とは① どれくらいの人が利用しているのか

インターネット、SNSとも国民のおよそ80%が利用

●インターネット利用率の推移とインターネット利用端末の種類

総務省,通信利用動向調査
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>より



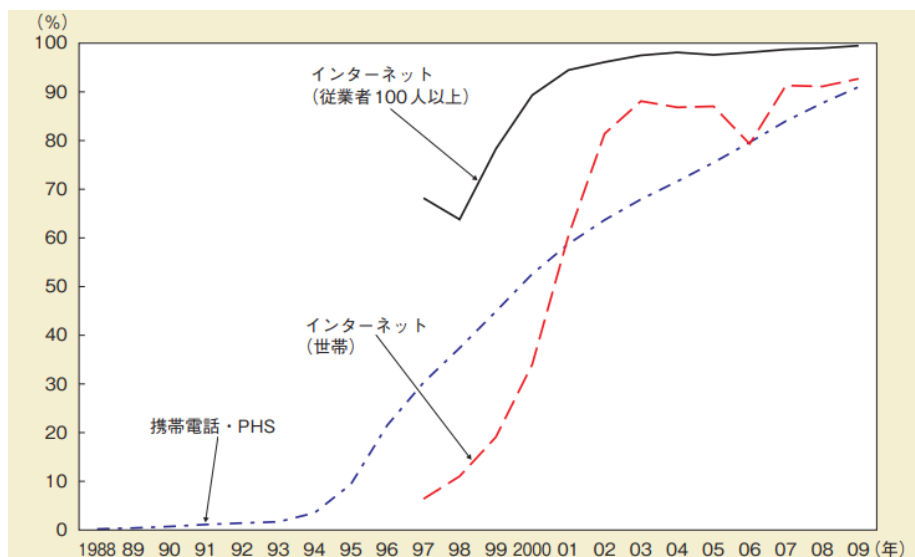
●主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率（全年代・年代別）

総務省情報通信政策研究所,平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書より
https://www.soumu.go.jp/iicp/research/results/media_usage-time.html

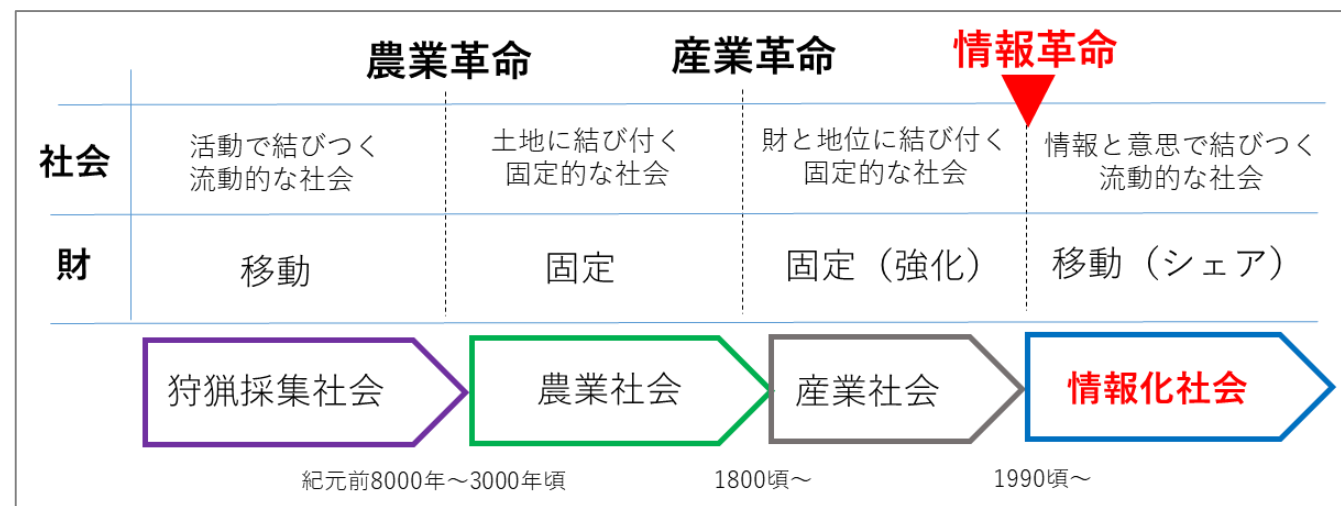
	全年代(N=1500)	10代(N=141)	20代(N=209)	30代(N=257)	40代(N=324)	50代(N=270)	60代(N=299)	男性(N=757)	女性(N=743)
LINE	82.3%	88.7%	98.1%	93.4%	87.7%	82.6%	52.8%	79.0%	85.7%
Twitter	37.3%	66.7%	76.1%	41.6%	34.0%	23.0%	9.0%	37.5%	37.0%
Facebook	32.8%	17.0%	47.4%	49.8%	36.7%	29.3%	14.4%	32.8%	32.8%
Instagram	35.5%	58.2%	63.2%	44.0%	35.8%	24.4%	8.0%	28.4%	42.8%
mixi	4.5%	2.8%	9.1%	5.4%	5.6%	2.6%	1.7%	5.2%	3.8%
GREE	2.0%	3.5%	4.3%	2.7%	1.5%	1.5%	0.0%	2.4%	1.6%
Mobage	4.0%	7.8%	7.2%	4.3%	3.7%	3.7%	0.3%	6.2%	1.7%
Snapchat	2.0%	5.7%	7.7%	0.8%	0.3%	0.7%	0.3%	1.8%	2.2%
TikTok	10.3%	39.0%	21.1%	7.8%	6.5%	4.8%	0.3%	9.0%	11.6%
YouTube	75.7%	91.5%	92.8%	88.7%	81.8%	73.3%	40.5%	77.0%	74.3%
ニコニコ動画	16.7%	31.2%	35.4%	16.0%	13.6%	11.1%	6.0%	20.3%	13.1%

そもそもネット社会（情報化社会）とは ② 歴史的観点

1990年ごろに起きた情報革命によってもたらされた人類進化の社会



総務省,通信利用動向調査
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>より



青木志保子, OPINION PAPER No.22(18-005)価値観で結びつくこれからの家族の形
～家族と財の関係性への考察～より一部改変

1、多くの人の間を 2、瞬時に 3、低コストで 4、双方向に
情報を流通させることができる社会

そもそもネット社会（情報化社会）とは ③ ポジティブな側面・ネガティブな側面

ポジティブな側面

- 誰でも情報にアクセスできる
(情報の民主化)
- 情報の非対称性の緩和 #1
- 情報を誰もが発信できる #2
＝一億総メディア時代
- 発信、共有、仲間ができる (SNS)、
ムーブメント・民主主義の促進
- 消費の押上効果 #3

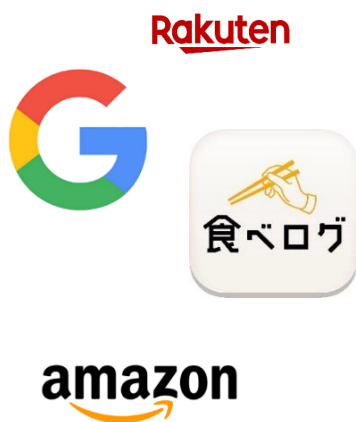
ネガティブな側面 (または課題)

- 情報が玉石混合
- 炎上 #4
- 個人情報、センシティブな内容の取り扱い
- フィルターバブル、エコーチェンバー #5
- フェイクニュース #6
(disinformation、misinformation)

ネット社会のポジティブな側面 #1情報の非対称性の緩和、#2一億総メディア時代

「情報の非対称性の緩和」

提供者 >> 消費者 → 生産者 ⇄ 消費者



@cosme 2018年保存版表紙より

「一億総メディア時代」

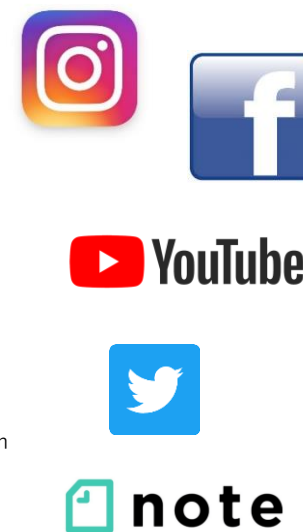
マスメディア



- Youtuber
- プロシューマー



<https://www.iza.ne.jp/kiji/entertainments/news/130928/ent13092815130003-n1.html>より



HikakinTV/YouTubeより



<https://minne.com/@sakitot/profile>より

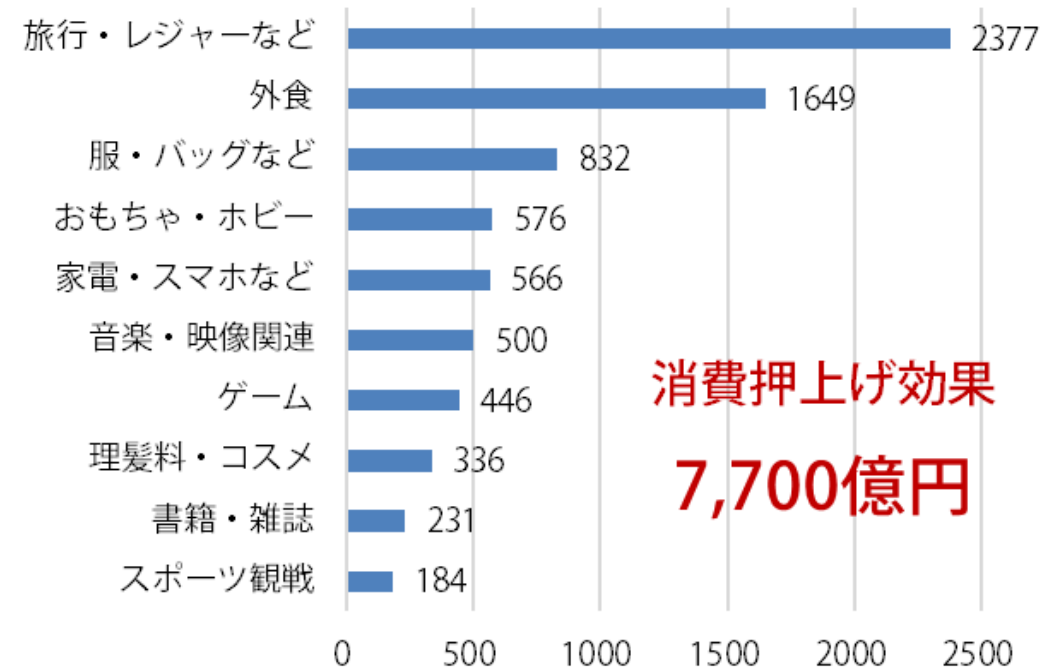
●家電や外食など6分野での消費喚起効果



日本テレビ「NEWS ZERO」より

Yamaguchi, S., Sakaguchi, H., & Iyanaga, K. (2018). The Boosting Effect of E-WOM on Macro-level Consumption: A Cross-Industry Empirical Analysis in Japan. The Review of Socionetwork Strategies, 12(2), 167-181.

●「インスタ映え」の経済効果 (億円/年)



山口真一, 佐相宏明, & 青木志保子. (2018). 「インスタ映え (SNS映え)」の経済効果に関する実証分析. GLOCOM Discussion Paper, 19(1), 1-19.より

ネット社会のネガティブな側面 #4炎上

●ムーニーワンオペ動画？騒動



<https://backyard.imip.co.jp/articles/enjo-kousatsu>より

●5輪エンブレム騒動

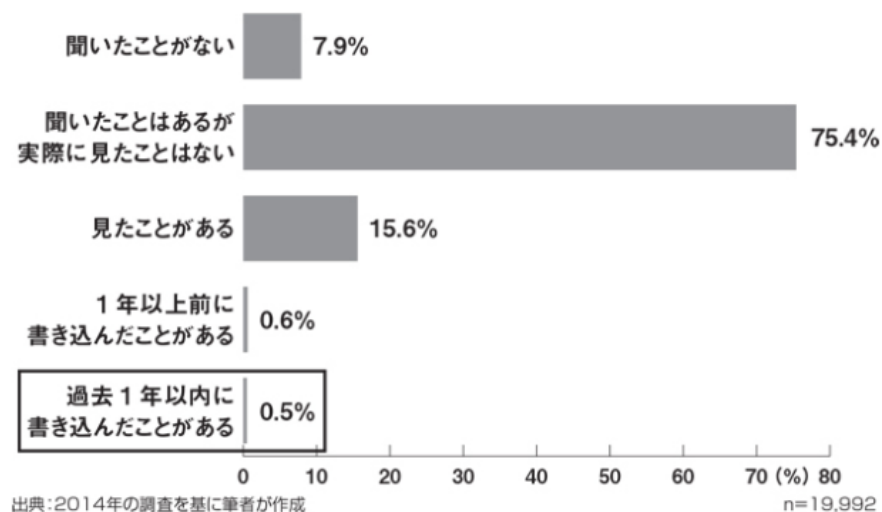


<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1508/05/news094.html>より

炎上は1年に絞ると約0.5%の人しか書き込んでいなかった。

(2014年調査・男女19,992人対象)

【図】炎上とのかかわり方



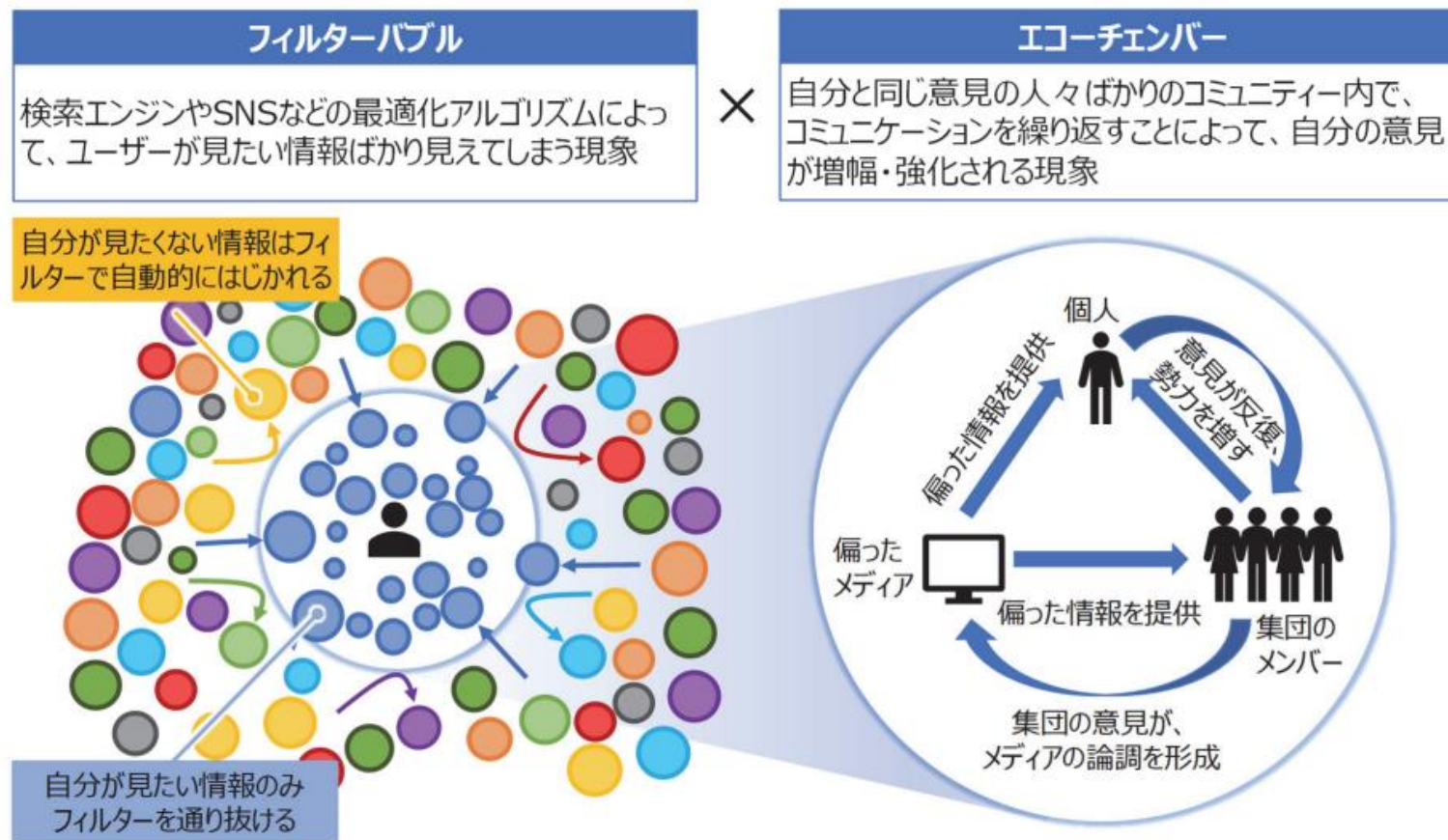
炎上加担の動機は「正義感」に基づいている人が多い。どの炎上でも60～70%程度。

(2016年調査調査対象・男女40,504人対象)



国際大学
グローバル・コミュニケーション・センター
准教授
山口真一

‘見たい情報のみを見る’&‘自分の考えがっている’



三菱総合研究所レポート
https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/ecovision/dia6ou000001mwznz-att/ei20191025_mirai2050-1-5.pdfより

日本でもフェイクニュースが課題になってきている



みんなでプラス > 「フェイクニュース」に立ち向かう > 5/5放送「フェイク・バスターズ」番組ダイジェスト③



<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0010/topic042.html> より

●NPO法人ファクトチェック・イニシアティブによる「ファクトチェック・ガイドライン」

正確	事実の誤りはなく、重要な要素が欠けていない。
ほぼ正確	一部は不正確だが、主要な部分・根幹に誤りはない。
ミスリード	一見事実と異なることは言っていないが、釣り見出しや重要な事実の欠落などにより、誤解の余地が大きい。
不正確	正確な部分と不正確な部分が混じっていて、全体として正確性が欠如している。
根拠不明	誤りと証明できないが、証拠・根拠がないか非常に乏しい。
誤り	全て、もしくは根幹部分に事実の誤りがある。
虚偽	全て、もしくは根幹部分に事実の誤りがあり、事実でないと知りながら伝えた疑いが濃厚である。
判定留保	真偽を証明することが困難。誤りの可能性が強くはないが、否定もできない。
検証対象外	意見や主観的な認識・評価に関することであり、真偽を証明・解明できる事柄ではない。

<https://fij.info/>より

- ネット社会（情報社会）は、
1、多くの人の間を 2、瞬時に 3、低コストで 4、双方向に、
情報を流通させることができる社会で人類の歴史から見ると浅い。
- その分、情報は玉石混交
- ポジティブな面（情報の民主化、情報の非対称性の緩和、等）、ネガティブな面（炎上、フェイクニュース、等）の両方ある
- 大切なことは**これらの全体像を知ったうえで、個々人が考え・行動をとること**



ネット社会は世界をつなげ、作りたい未来を作ることのできる新たな生態系
それを支えるためのそれぞれの免疫力を高めることが重要

Ex, 感情的に揺らいだら一呼吸置く、情報をそのままのみにしない、シェアする前に必ず自分で調べる、同じ情報も必ず違う意見があることを意識する・・・など

メッセージ：ネット社会のポジティブな側面を活かそう！

✓ 有益な情報を共有できる



✓ 誰でも質の良い情報（論文）へのアクセスができる

Google Scholar

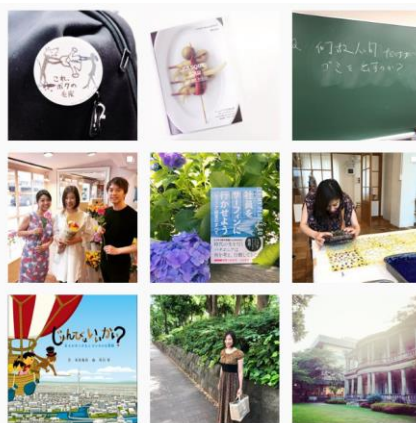
☐ すべての言語 ☒ 英語と日本語のページを検索

COVID-19に関する記事

CDC NEJM JAMA Lancet Cell BMJ
Nature Science Elsevier Oxford Wiley medRxiv

巨人の肩の上に立つ

✓ 自分の意見、世界観を発信できる



Instagram@rikasueyoshi より

✓ 仲間集め、資金集めが
誰でもできる



<https://readyfor.jp/projects/17485> より

ご清聴ありがとうございました。